

○示範授業 9年 数学『平方根』 相見先生



先日は、お忙しい中、示範授業の参加ありがとうございました。相見先生もお疲れさまでした。

1. 単元のねらいと「主体性」を育む工夫

本単元では、単元を通して「見通しを立てて学び、学んだことを振り返る生徒」という主体性を育てることを目標としていました。そのために、

- ・既習事項(有理数)とのズレの意識：生徒自らが解決策を模索する場面を設定する。
- ・学習の調整(メタ認知)：生徒が自分の理解度を客観視できる仕組みを導入する。

2. 本時(第1時)の展開と子どもの姿

正方形を作る活動があり、ある数の正方形をどう作るのか、自然と会話をしながら、学習に取り組んでいました。

・自然な対話の広がり：個人ワークから始まり、「友だちと協力してもよい」という柔軟な環境(学びの環境づくり)があったことで、生徒間で「おれはこうやったな」「他はこう考えてたで」といった活発な意見交換や自然な対話が生まれていました。

・ICTの活用：タブレット(スプレッドシート)への書き込みを導入や振り返り、まとめの段階で効果的に活用していました。



3. 研究討議から見た「今後の問いと課題」

授業後の研究討議では、素晴らしい実践を認めつつも、さらに一歩進んだ「主体的な学習者の育成」に向けて、以下のような深い議論(問い)が交わされました。

- ・「はじめの時間(導入・課題設定)」の目的の明確化
- ・学校全体としての「指導の共通理解」
- ・持続的な価値付け

☆今回の授業や討議会を通して、みなさんが思う

『はじめの時間(導入)のあり方』や、

『主体性や対話の共通理解』、

『ふりかえりなどの持続的な価値付け』をどうしていくのか、考えていけるといいなと思いました。